Pmda 独立行政法人
医薬品医療機器総合機構

家庭でご使用になる

医療機器の相談にお答えします。

医療機器相談

家庭用の医療機器（コンタクトレンズを含む）に関する相談

03-3506-9436

［受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～午後5時］

※おかけ間違いのないようご注意ください。

医療機器Q&Aはこちらをご覧ください

No.4

こんなご質問をお受けしています

家族が在宅酸素療法を行っています。酸素を吸入中に注意することがありますか。

在宅酸素療法では、酸素濃縮装置、液化酸素、酸素ボンベが用いられています。これらは適切に使用すれば安全な装置ですが、酸素は燃焼を助ける性質が強いので、火を近づけると火災の原因となり大変危険です。

酸素吸入中には、絶対にたばこを吸わないでください。また、周囲2m以内には火気を置かないでください。家族の方々も周辺で火を取扱わないようにしましょう。

在宅酸素療法中に、以下が原因で発生した火災による重篤な健康被害が報告されています。

- たばこ（着火時、火の不始末、寝たばこ）
- 仏壇の線香やローソク
- ガスコンロやストーブ

火気厳禁

参考情報：

○在宅酸素療法における火気の取扱いについて
（厚生労働省ホームページ）

厚生労働省のホームページはこちらをご覧ください

糖尿病のため、自宅で血糖を測定しています。指先から測定する場合の注意点を教えてください。

血糖測定器を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。測定前には必ず流水で手を洗い、アルコールで消毒し、乾燥後に採血してください。果物などをさわった手で採血すると、実際の血糖値より高い値（偽高値）を示すことがあります。これは、時間経過に関係なく、指先に付着した糖分が血液に混じるためです。糖分はアルコール綿による消毒のみでは十分に除去できません。誤った高い測定値を参考にして治療をすると危険です。

また、脱水状態のときなどは指先からの採血では正しい値が得られないことがあるため、測定結果に疑問を感じたときは、かかりつけ医に相談してください。

参考情報：

○血糖測定器の取扱い上の注意について
（PMDA医療安全情報No.28、平成23年11月）

PMDA医療安全情報はこちらをご覧ください

※ここに掲載したQRコードのリンク先は変更されることがあります。サイトが正しく表示されない場合はPMDA医療機器相談にお問い合わせください。

独立行政法人
医薬品医療機器総合機構

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル　http://www.pmda.go.jp/

家庭用の医療機器（コンタクトレンズを含む）に関する相談

03-3506-9436

受付時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）　午前9時～午後5時

MD04：2015年 7月作成